

学習指導課短信

1 教育課程研究協議会

令和4年7月29日(金)に教育課程研究協議会数学部会を3年ぶりに参集型で開催いたしました。

新学習指導要領については、平成30年の告示当初から、教科の内容や学習評価についての不安を抱えていた先生方もいらしたのだと思います。さらには、新型コロナウイルス感染症の影響で、学習指導要領の着実な実施に向けた研修や協議会等の実施も難しく、文書や動画での情報発信にとどまってしまう、不安を払拭できないまま今年度を迎えることになってしまった先生方も少なくはなかったのではないのでしょうか。

今年度も、依然として新型コロナウイルスの感染拡大が止まない中ではありましたが、数学部会長の久保木校長先生の後押しもあり、教育課程研究協議会数学部会は、参集型での開催といたしました。

「協議会を行えば、全ての不安が解消される」というわけではありませんが、各学校の取組や課題を共有できたことは先生方にとって大きなプラスになったのではないのでしょうか。千葉県の数学教育を担う先生方が集まり、各グループで活発な議論を行う様子を拝見して、学習指導要領の目指す主体的・対話的で深い学びや協働的な学びの重要性を改めて実感することができました。

2 高等学校訪問

学習指導課では、今年度から3年間に渡り、千葉県内の全ての県立高等学校への訪問を予定し、9月末までに20校を訪問しました。訪問校に設置されている全教科の指導主事による今回の訪問では、学習指導要領に基づいた学習指導の改善及び適切な学習評価の実施、

学校運営上の課題解決のための指導や助言等を行っております。各学校での数学の授業を拝見し、先生方一人一人の授業力の向上を図るとともに、各学校の特徴的な取組や課題について情報提供をしていただき、千葉県の数学教育全体の指導力向上を図る機会としていきたいと考えております。

3 ICT 活用

高等学校訪問では、ICT活用の実施状況についても拝見させていただいております。各学校におけるBYODの整備状況やタブレットの普及状況等の違いもあり、このICT活用についても、難しさを感じていることと思います。

ICTを活用してできることを整理してみると、グラフを動的に捉え理解しやすくなり、生徒の興味関心を高めたりすることができ、既習事項の振り返りとしても、教科書の内容や過去の指導プリント等を瞬時に映し出すことができ、大きな学習効果が期待できます。また、黒板では示すことが難しいような細やかな表やグラフ等も表示できることから、表やグラフ等を通した知識の定着や深い考察も可能となります。他に、個人やグループの意見や解答をクラス全体で共有する等、生徒の協働的な学びの場や個別・最適な学びを目指す際にも、ICT機器は力を発揮します。科目や授業の目標に基づき授業展開を考える中で、先生方が最も効果的だと考える授業を具現化し、板書や生徒の発表等を今までよりも効率的・効果的に実施できるのがICTです。

ICTの有効的な活用に向けては、ICT機器やネット環境の整備とともに先生方のスキルアップも必要となり、足踏みされる先生方もいらっしゃると思います。そうした中、今回の高等学校訪問において、全ての生徒がタブレットを用意して臨む授業を実践する先生もいらっしゃいました。令和3年度から教科研究員が授業でのICTの活用方法について研究を重ねており、実践例やヒント集を千葉県学習共有ポータルに載せております。ぜひ、ICT活用の一助としていただきたいと思います。

います。先生方のチャレンジ精神に大いに期待しております。

千葉県の数学教育を担う先生方のますますの御活躍を祈念しております。

県教育庁教育振興部学習指導課
指導主事 左口 孝史